



とつか

2017年11月会報 第277号

- 2017 国際会長(IP) Henry Grindheim (ノルウェー)
主 題 “Fellowship across the Borders” 「国境なき友情」
スローガン “Let Us Walk in the Light-Together” 「ともに、光の中を歩もう」
アジア太平洋地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)
主 題 “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)
主 題 「広げよう ワイズの仲間」 “Extension Membership & Conservation”
2018 スローガン「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」
湘南・沖縄部部長 金子 功 (横浜)
「Y's の絆を強め、広げよう」 “Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”
クラブ会長 浦出 昭吉 「初心に帰ろう、グッドスタンディング目指して」
副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 小俣 妙子
主 題 ネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



ワイズメンズクラブ国際協会
第21回東日本区大会

日 時：2018年6月2日(土)・3日(日)
会 場：プラサヴェルデ
ホストクラブ：沼津ワイズメンズクラブ
協力クラブ：富士山部 各ワイズメンズクラブ
後 援：沼津市・沼津商工会議所
静岡県東部地域コンベンションビューロー



会長ひと言 浦出 昭吉

～昔のプロレスを見る思いが…～

最近の米国と北朝鮮の‘やりとり合戦’は、傍から見る限りでは ややエスカレート気味になってきてはいるものの、私には だいぶ昔のプロレスの八百長ごっこを見せられている思いで、弱い方が智恵の限りの悪口雑言を繰り返し、時には反則ワザも織り交ぜて攻撃し、強い方は それを余裕々と受け止め タイミングよく決着をつけるのでは…と、今回の米朝悪口合戦も、米国が大きく ‘抱え込み’ で いずれ休戦状態に持ち込むであろう…と、タカをくくって眺めています。それにしても トランプ大統領は金正恩委員長を「ロケットマン」と揶揄し、やり返す方は「米国の老いぼれの狂人」とは芸も無ければ品も無いこと この上もありません。‘大人げない’ とは この辺りのことを指してのコトバのようにさえ思えます。願わくは 大人らしい思慮分別の欲しいところ、ごく一部の人たちを除いて、世界中の多くの学者や政治家、また良識ある市民の皆さんが、‘他愛無い’ ‘おもんぱかりに欠ける’ と思っ

ているのではないのでしょうか…。願わくは ‘イグノーベル賞’ の対象となるような、もっとウィットやユーモア溢れる遣り取りを繰り返してもらいたいものだナ…と、声が届くものなら言ってやりたい心境に駆られますが、ワイズの皆さんは いかがお思いでしょう…。

◎今月の聖句◎

「すべての民よ、手を打ち鳴らせ。神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。」

—詩編47章2節—

「さあ、みなさん！喜んで手をたたきましょう！
大声を上げて神様をほめたたえましょう！」

もうお分かりのように、‘幸せなら手をたたこう’の元となった聖句の箇所です。先だつての湘南・沖縄部の部会で記念講演された早大名誉教授の木村利人さんが作詞されたこともご理解いただきました。そして、それにまつわる壮絶ともいえるお話も伺いました。ここで 今一度唱えてみましょう。

強調月間 **ワイズ理解**
ファミリーファスト

日本で初めてのクラブ、大阪クラブが国際加盟した日の1928年11月10日を記念し、11月10日をY's Dayとし、11月をワイズについて理解を深める月と決めています。

‘Family Fast’、これは いわばTOFの家庭版ともいえるべき献金を指します。TOFは2月に実施しているあの‘断食の時’の意ですが、その特別献金ともいえるべきものがこれです。TOFは、@1,300円以上が目標です。

10月在籍者数			10月出席者数			出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	12	メ	ン	8	85%	他	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メ	ネット	9	メ	ネット	3		前	月	迄	0	0	0	10,000	11,500	
			ゲ	スト			当	月		0	0	0		8,500	
計		21	合	計	11		累	計		0	0	0	10,000	20,000	

☆第1例会報告☆

浦出 昭吉

日時： 2017年10月7日(土) 18:30~20:30

場所： 湘南とつかYMCA 1階ホール

出席者：(ゲスト) 湘南とつかYMCA 体操リーダー

田野 天舞さん

同 YMCA ウェルネススタッフ

山本 有里佳さん

(メン) 加藤、小俣、佐藤、鈴木、

吉原、若木、浦出

(メネット) 加藤、吉原 計 11名

久しぶりに、湘南とつかYMCA ホールでの第1例会です。

本日のメインは、9月8日(金)~10日(日)・山中湖センターで開かれた第30回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)にとつかから参加されたYMCA スポーツ専門学校生で体操リーダーの田野天舞(たのてんま)さんによる報告会です。

開会セレモニーの後は、定番 山本スタッフによるコグニサイズ、腰掛けたまま、両手を使ってグー・チョキ・パーを左右交互に膝を叩くという、いとも簡単な動きがチグハグになってしまっているように感じません、やがて足踏みも加わって…。とうとう、シッチャカ・メッチャカに…。そしてお隣さんも…。笑いとお声のうちに終わりました。「ワイ・ガヤ」のお食事タイムの後は、いよいよすでに用意されたPCキットを前に、山本スタッフの手短な紹介で田野さんが壇上へ…。臆する様子もなく卓話が始まりました。

『31名のリーダーが参加して開かれたYVLF、神崎清一同盟総主事の基調講演の中で、ウェルネスの意味についてなど、学ぶべきいくつかのお話があった。子どもと関わる上では、「笑顔が大切」「子どもたちに手本を示すこと」など積極的な気持ちを持つことが大事だ。講演のテーマ「今、リーダーに求められる」

こと」は、人それぞれ・一人ひとり違うが、それはそれで違ってよい、YMCAにはこの気持ちに込められる多くのプログラムがある。私は、今、体操クラスに関わっている、しかし、もっと多くのプログラムを支えていく担い手として関わり、活動できるよう願っている。また、独り私だけでなく、とつかYMCAのリーダーたちが、より活発に活動し成長する場を増やしていくことができれば…。』と。そして、『このような機会を与えてくれたワイズメンズクラブの皆様から感謝します。ありがとうございました。』と結ばれた。

諸報告・協議では、先ほど午後1時に「You & I コンサート」がつづきクラブの主催で都筑公会堂で開かれ、加藤・小俣両ワイズと吉原メネットの3名が参加されたことなどの報告がありました(別掲)。また、この14日に開催されるチャリティーランにコースガードとして参加する人数の確認が行われました。次回の会合の確認、ハッピーバースディなどがあった。記念撮影の後、定刻に閉会点鐘、田野リーダーの一層の成長と発展を願いながら散会しました。



☆新しいブランドロゴとスローガン☆

長田 光玄



全国のYMCAが3年前から相協力し知恵を絞ってきたブランディングプロジェクトに関し、今のYMCAが社会にどのようにすれば訴求していくことができるかについて検討を重ねた結果、昨年6月には『日本YMCAブランドコンセプト』を発表、新しいブランドロゴ(左)とスローガン『みつかる。つながる。よくなっていく。』

がこの10月1日から創出・解禁となりました。新しいブランドロゴとスローガンが社会の訴求に込めながら、更なるステージへと向かって変化を遂げ 深化することができるか否かは、今後のレイパーソンを含むYMCA全体の課題になると思います。

新しいブランドロゴの愛称は「ポジティブ Y」、鳥が正に飛び立ちとうとする瞬間の姿をモチーフしております。それは「『ポジティブネット』のある豊かな社会の創造」という理念を表しています。ポジティブネットとは「互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク」を意味します。2019年までに 看板、印刷物、ホームページなどを順次、新しいロゴマークに変えていきます。

皆さん 楽しみにしててください。

☆第2例会報告☆

浦出 昭吉

日時： 10月17日(火) 18:30~20:00

場所： 湘南とつかYMCA 205号室

出席者：(メン) 有田・長田・加藤・小俣・佐藤・鈴木・

土方・吉原・浦出

(メネット) 加藤・吉原

計 11名

◇ 報告事項

- ① 森脇倫子職員の結婚式：10/7・葉山(別掲)
- ② YMCA チャリティーラン：10/14・MM21地区(別掲)
- ③ YMCA 関係：10/1~・新しいブランドロゴ等の実施(別掲)

◇ 協議事項

- ① 11月例会：11/3のY祭に振り替える。
- ② 横浜市舞岡地区センター20年感謝祭の件：10/28(別掲)
- ③ ジャガイモの取扱い：入荷(10/23・吉原宅)後に対応。
- ④ メネットの集い：吉原・佐藤・土方・加藤・鈴木(5名参加)
- ⑤ 12月例会：12/2(土)・「新しいブランドなどについて」を中心とする卓話を予定したい。

◇ その他

- ① 当面の日程を確認。
- ② ブリティン用原稿を依頼した。

—以上—

☆20回目のチャリティーランが…☆ 小俣 妙子

10月14日(土)、朝から雨模様ながら‘明日も雨…’という予報に、『予定とおりに…』と‘第20回横浜YMCA国際チャリティーラン2017’は、いつものMM21地区・臨港パーク内の特設コースにおいて、定刻の9時45分の開会式からプログラムに従って始まりました。

途中で待ち合わせたクラブの鈴木さん、土方さん、吉原さんと会場に着くと、すでにビブスを着けられた会長の浦出さんや加藤さんに迎えられ、私たちもお仲間に…。いつか雨も止み、曇り空ながら大した風もなく、ムードが上がってきました。

私たちの担当は、いつものようにコース・ガード、それも折り返し地点近くです。目印の幟旗を持っての案内役、今回は、この幟もそうですが、テントを始め およそ目につくモノすべてに、例のニュー・ロゴマークが染め抜かれておりました。

今年は108チームが申込み・出場、10時45分、幼児中心の‘300メートル・Cコース’のスタートを手始めに、11時20分には小学生以上の‘800メートル・Bコース’、そして11時50分には健脚に物言わせる‘Aチーム・1,100メートル’がスタートと、ほぼ時間どおりにプログラムは進みました。

Cコースには、YMCA 幼稚園の園児が多かったようで、それぞれの園の保育士さんたちや園長先生、それに 若いお父さんやお母さん方のデジカメを手にしての応援ぶり、中には 驚いて泣き出す選手やリレー相手が分からずにまごまごする選手さんもあり…のまことに類笑ましい風景が見られました。

Bコースでは、今やご常連になった‘鎌倉車いすと共に歩む会’チームを始めさまざまな、それこそYMCAならではのシーンがあちこちに展開され、こちらの掛け声にも一段と熱の入ったひと時でした。

Aコースは、日頃の体力に自信があるチームだけに、こちらも 幟持つ手に自然と力が入ります。地響きを立てて駆け抜ける選手たち、目の色まで何か違って見えました。

ゼッケンを見ていて、アンカー・ナンバーの『5-』が目に入ると、こちらの声援もひと際 大きくなっていました。

当日の感想を1つ2つ、①Cコースの幼児組選手の中には、やはり例年の様なタスキによるバトン・タッチが有って、首から落ちそうになるのを一生懸命に押さえながら走る光景が見られました。②スタートの合図がもう少しはっきり伝わり一層良かった。③折り返しコースの場合の左右の別が、ガード担当者にやや徹底を欠いていた感じがした、などです。



☆横浜市舞岡地区センターへ☆ 加藤 利榮

‘みなさまと共に これまでも これからも・20th 感謝祭’のチラシを手に、10月28日(土)に開催された横浜YMCAが管理運営を担っている横浜市舞岡地区センターの‘開館20周年感謝祭’に小俣・吉原両ワイズと共に駆け付けました。

10時、すでに現地には 長田担当主事も応援スタッフで…。曇り空ながら まずまずのお天気に 明るい笑顔が行き交い、加藤施設長や菅原職員のお出向かえの中、地下体育館では60人の舞岡中学校生徒による吹奏楽で賑々しいオープニングとなりました。見渡すと、並べられた300ほどの椅子席はほぼ満席、前列には わが子の出演を記念に撮っておこうという家族連れなども見られます。懐かしのベニーグッドマン張りのスウィング風の曲が30分ほど演奏された後、拍手の中、施設長の歓迎のご挨拶でムードは最高潮に…。

頃合いをみて私たちは屋外へ…、前庭に設けられたテント張りの‘模擬店’コーナーへと歩を進めます。その間にも、お顔見知りのスタッフに声を掛けたり・掛けられたりの大忙しのひと時、模擬店では 列ができるほど人気の‘栗おこわ’や焼きたてのパン、串だんご…など、にわか売子さんの呼び声についてお財布の口も緩めて…。

‘さあ そろそろ…’のお声が響いて帰路に…。



☆今年も You & I コンサートに☆ 吉原 和子

‘～あなたとわたし 障がい児・者ととともに～第7回 You & I コンサート’が やっと秋らしくなった10月7日(土)の午後、つづきクラブなどの主催で都筑公会堂を会場に開かれ、加藤さん、小俣さんと一緒に参加しました。

今城宏子会長の開会のご挨拶で始まり、出演は お馴染み横浜室内合奏団と歌劇団の皆さん、見渡すと 600席ほどの場内は8割方埋まっている様子、今日のこの催しを心待ちにしていた皆さんの気持ちが分かるような気がしました。

曲目は、いずれも親しみやすいクラシックの小曲7曲ほどと 休憩を挟んで 後半は、歌劇「アルプスの花咲か婆さん」と題した30分ほどのオペレッタ、善いお婆さんと悪いお婆さんが1匹の犬(男役)とともに繰り広げるショート・オペラ、‘ココ掘れわんわん・大判小判が…’ 式のニホンの昔話とはやや勝手が違い、‘ヒネリ過ぎ’な感じもあって、皆さんにはちょっと解かりづらかったのではないかと思います。それでも、舞台をアルプスに移しての外国版‘花咲か婆さん’、そのコメディアンたっぷりな演出に、笑い拍手が盛んに贈られておりました。

終わりは、いつものように 出演された人々へのプレゼント・タイムと、客席共々に‘花は咲く’‘見上げてごらん…’の大合唱、終ってご挨拶を交わし、クラブの例会に間に合うよう帰路に…。



☆YMCA だより☆ 施設長・担当主事 長田 光玄
 ～東日本大震災からの復興を願い～

10月21日(土)～22日(日)の日程で 宮城県仙台市に行ってきました。

熊本地震の際には 緊急復興支援として現地に入りましたが、東北を訪問するのは初めてでした。

今回は 大川小学校と閑上(ゆりあげ)地区を訪問しました。土地や建物などの復興は少しずつ進んでいますが、被災された方々の心の復興はまだまだとお聞きしました。

大川小学校では‘大川伝承の会’の方にお話を伺いました。震災当時のままに残された小学校の中を見学させていただき、2階の壁に残った浸水の跡、大震災発生時と同じ時刻で止まったままのいくつもの時計、鉄筋がむき出しになって倒れたままの何本ものコンクリートの柱など、そして多くの命が失われた場所で、私たちは静かに祈りました。

私たちは深い悲しみを負った方々の気持ちをご簡単に語り出すことができません。生かされている私たちは この気持ちをいつまでも風化させることなく繋いでいかなくてはなりません。

YMCA 人として、困難や苦しみの中にある方々を想い これからも復興支援を続けたいと思います。



☆今月の歳時記から☆

‘冬めく ふゆめく’ と ‘凧 こがらし’

‘冬めく’、自然の姿は、まだ晩秋らしさを保っているのに、感覚を通して冬を感じる場合と、そうした感覚とは別に、時雨や落葉や木枯らしなど、自然界の風物そのものがいかに冬らしく感じられる場合にも、‘冬めく’といえます。

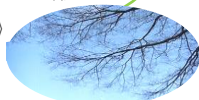
口の袖あてゝゆく人冬めける	虚 子
蓮さわぐ風に星屑冬めきぬ	寒 子
冬めくやうき身さみしく頬かむり	拐 童
冬めきて徐々に芝生の色失せぬ	嘉 了

次に‘凧’、10、11月ごろ吹く北西寄りの強い季節風を指します。木の葉を落とし枯れ木にしてしまうところから、‘木枯し’とも書きます。冬のさ中に吹く北風ほど強烈ではありませんが、激しい音を立てて吹きまくり、正に冬の訪れを思わせるのも、この凧です。

この風が吹いた後の空は、寒々と冴えわたります。

木枯しや目刺にのこる海のいろ	龍之介
海に出て木枯し帰るところなし	誓 子
凧の夜の鏡中に沈みゆく	白葉菜
凧や海に夕日を吹き落す	漱 石

(竹)



森脇倫子さん ご結婚おめでとう

健康で明るい家庭を築かれるよう
 横浜とつかクラブのワイズ
 メン・メネット一同 心より
 願い・見守っています。
 2017年10月吉日

☆11月・12月のこよみ☆

- >11/2 (木) のみの市 ‘値付け’: 湘南とつか・13:30～
- >11/3 (金・祝) Y祭: 8:30～
- >11/21 (火) 第2例会: 湘南とつかYMCA201号室・18:30～
- >11/25 (土) メネットのつどい・横浜YMCA 9階チャペル・11:00～
- >11/27 (月) 第4回湘南とつかYMCA 運営委員会 404号室
- >12/2 (土) 第1例会: 湘南とつかYMCA ホール・18:30～
- >12/5 (火) 第79回Y-Y's 協議会 関内中央YMCA・501号室
- >12/19 (火) 第2例会: かしお・18:00～
- >12/21 (木) 全Y-X'mas: 湘南とつかYMCA ホール

～11月会合のご案内～

- ◇ 11月2日(木) Y祭値付け
1階ホール・13:30～
- ◇ 11月3日(金) 1階ホールに8:30までに集合
14:00終了・解散
- ◇ 第2例会は、上の‘こよみ’にあるように、21日、湘南とつかYMCA201号室にて開催します。
重要事項の協議がありますので、お参集願います。
- ◇ 12月期第1例会は、上記‘こよみ’のとおり
12月2日、「YMCAのプランティングの話」を予定しています。

～HAPPY BIRTHDAY～

若木 一美さん 11月28日
 浦出 瑞江さん 11月29日

【掲示板】

会 長

◎ Y祭の準備について

△ 前日の「値付け」から、当日の「のみの市」まで、内容的にはいつもと変わりませんが、前以て準備するものや当日のそれぞれの担当部署の確認など、宜しく願います。

△ 3日当日は、8:30集合・9:30開始です。

△ 椅子や長机の早めの確保にご留意ください。

◎ 「ワイズメネットのつどい」について

△ 現在までに、5名が参加します。なお、参加を希望される方は、吉原メネットまでご連絡ください。

☎ 045・881・7898

(後記)

雨を心配しながらのイベントも 過ぎ去ってみれば ‘ああ やって良かったあ…’、一日々々と秋も深まってきました…。 (TK)